

NO.5
平成17年
(2005)

環境ひらかた

4
月号

環境保全を願って熱唱



環境保全を考える講演会を開催

ひらかた環境ネットワーク会議、ひらかたエコフェア実行委員会、枚方市が、3月20日、「環境保全を考える講演会とオペラ歌手のナチュラルコンサート」を、ラポールひらかたで開催しました。無農薬みかん作りに取り組んでいる須藤登さんの講演と、オペラ歌手の西村玲光さんのコンサート(写真)、ひらかた環境ネットワーク会議の活動紹介など、充実したイベントとなりました。

目次

環境保全を考える講演会	2
中司市長との懇談会	3
各部会&運営委員会の活動	4
特集部会紹介	6
お知らせ	7
団体紹介	8

無農薬みかん作りや地球温暖化の講演&オペラコンサート 自然にやさしい草生栽培法を実践

地球温暖化が及ぼす影響について話を
する
須藤登さん



ひらかたエコフェアの一環として開催

この講演会は、市民、事業者、行政の三者が、地球温暖化など地球規模の環境問題解決のため、現在の大量消費の生活スタイルを問い直すことを目的とした「ひらかたエコフェア」の一環として、平成10年度から開催しているものです。会場となったラポールひらかた大研修室には、ひらかた環境ネットワーク会議の会員をはじめ100人以上の方が訪れ、大盛況となりました。

みかん作りから考えた環境問題

第1部では、和歌山県吉備町で無農薬みかん作りに取り組んでいる須藤登さんが「みかん作りから考えた環境問題」というテーマで講演を行いました。

須藤さんは、30歳で脱サラ後、海外に渡り環境共栄生活法を研究。現在は無農薬有田みかん園を経営する傍ら、全国で環境に関する講演会を行っています。

講演では、須藤さんが実践しているみかんの下にマメ科やイネ科の植物を生やす「草生（そうせい）栽培法」についての説明や、地球温暖化が私たちの日常生活に及ぼす影響、地球温暖化の抑制対策などについてお話されました。

最後に須藤さんは、環境を守る社会システムの必要性を強調し、「アイドリング規制や環境税などを導入すべき。環境に負荷を掛ける人は、それなりの負担を払う必要がある」と話し、講演を締めくくりました。

西村玲光さんが「赤とんぼ」などを熱唱

今回の講演会では、1部と2部の合間に特別パートとして、須藤さんの妻でオペラ歌手の西村玲光さんによる「ナチュラルコンサート」を行いました。

西村さんは、武蔵野音楽大学卒業後、ミラノ国立音楽院を修了。その後、パビーア国際コンクール1位など、数々の国際音楽コンクールで実績を残しています。

コンサートでは、「この道」や「赤とんぼ」などを熱唱、その美しい歌声を会場いっぱい響かせていました。

ネットワーク会議の取り組みを紹介

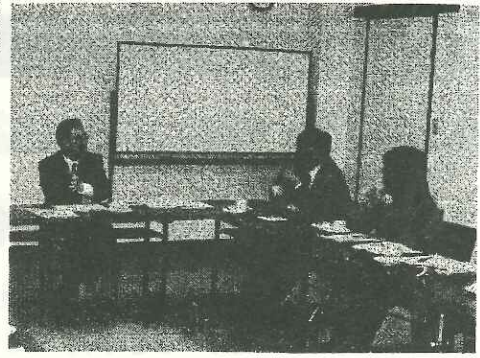
第2部は、ひらかた環境ネットワーク会議がこれまでに取り組んできた環境保全の活動や、今後の方向性などを、パワーポイントを使ってわかりやすく紹介しました。



パワーポイントで、ネットワーク会議の活動を紹介

活動について意見を交換

法人化後も三者協働の堅持を確認



運営委員会と運営スタッフは、3月30日、枚方市民会館会議室で、中司宏枚方市長と懇談を行いました。当日は、運営委員と運営スタッフ9人が参加。午後6時30分から2時間、中司市長と「部会活動の状況」や「将来の方向性」、「三者協働」などについて意見交換をしました。

ネットワーク会議からは「市長はネットワーク会議のNPO法人化についてどう考えるのか?」、「法人化すると行政が離れてしまうのでは?」などの質問をしました。

それに対して中司市長は「三者協働のスタイルは、環境保全都市を実現するうえで、有効であると考えている。そのためには継続して協働していくことが必要であり、組織として安定するNPO法人化には賛成。法人化しても行政が手を抜くという事はない」と話し、法人化後の三者協働の堅持を確認しました。

その他「環境総務課以外の行政部局との関係構築」などについて話し合いました。

懇談会では、さまざまな質問や要望を出しました



組織基盤の安定を図るため NPO法人化へ向け準備を進める

運営委員会では、活動の充実や社会的信頼性の向上、安定した組織運営を行うため、ネットワーク会議のNPO法人化を進めていくことに決定しました。

現在、「NPO法人化検討チーム」を中心に、定款の検討や、組織、協働のあり方などについて協議を行っています。

3月23日に開催された第16回運営委員会では、議題をNPO法人化に絞って議論を行いました。「正会員、賛助会員の定義をどのようにするのか」、「各主体に見合った会費設定をした方がいいのではないか」、「理事会の

構成について」、「理事会、運営委員会の機能、役割分担について」、「事務局体制について」、「部会について」など、主に定款の内容や、組織形態について検討しました。

運営委員会とNPO法人化検討チームでは、引き続き、法人化後の組織のあり方や、三者協働について検討していくと共に、法人化のスケジュール策定など、法人化へ向け、詰めの作業を行っていきます。

NPO法人化の動きに関しては、随時ホームページに掲載していきますので、ご覧ください。

●各部会の活動

自然環境部会

ちょっとした気づきを行動に！

「自然環境がよくなればいいな」これは誰もが思っていることではないでしょうか。しかし「どうしたら？」というとなかなか難しいことです。でも私たち市民のちょっとした気づきを行動に起こすことで、環境がよくなるとしたら素晴らしいことですね。そこで今回は、会員 W.T さんの「ちょっとした気づきを行動に」の事例を紹介します。

W.T さんは河川の清掃活動のときに見た藤田川の汚染のひどさについて「早急に河川管理者として調査を実施して、原因の究明と対処をお願いしたい」と市に申し入れました。市からは「一部の家屋が公共下水道に接続されていないために浄化槽ならびに排水溝が水路に流入し、藤田川の汚染に関与しているらしい。当該家屋に対しては公共下水道への接続指導を行いました」という回答もあり改善に向けての動きもみられました。ここまでではと思われる方も、まずは自分に出来ることから始めてみませんか？

ごみ・エネルギー部会

自然エネルギー学校設立準備WGなどが活動開始

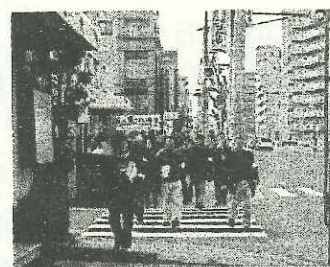
平成 16 年度の当部会は、廃棄物及びエネルギー分野における枚方市の環境基本計画、施策、取り組みを勉強するとともに、個人・団体で既に取り組んでいる活動を部会員間で報告しあい、意見交換をしてきました。その中で今後部会として取り組むテーマは、「廃棄物の発生抑制」「再使用・再生利用の促進」「省エネルギーの推進」「自然・未利用エネルギーの利用促進」「雨水利用の促進」「地球温暖化防止啓発」などに集約されました。これらのテーマを実践・推進する WG (ワーキンググループ) として①自然エネルギー学校・枚方設立準備、②廃食用油リサイクル、③省エネラベル、④地域ごみ減量 (減量等推進員制度)、⑤生ごみ減量・堆肥化、⑥資源化物リサイクル、⑦エコライフの七つのWGが立ち上がり、平成 17 年度に向けそれぞれ活動を開始しました。

公共交通部会

楠葉地域の交通のあり方を検討

○自転車グループでは、駐輪機器を使った駐輪システム・レンタサイクルシステムの開発、実施コーディネートを目指し、検討を進めています。

○バスグループでは、去る 1 月 16 日樟葉駅周辺での交通状況フィールドワークを行い、それに基づき、同地域でバスのスムーズな運行を計る方策について、検討を進めています。今後は市とタイアップして地域を巻き込んだワークショップを行い、楠葉地域の交通のあり方について、検討を進めていく予定です。



樟葉駅周辺でのフィールドワーク

まちづくり部会



樟葉小で防犯&交通安全指導を実施

まちづくり部会安心・安全ワーキンググループの企画提案で、3月9日、樟葉小学校において、枚方警察署・学校教職員・PTAの協力を得て、1年生の児童を対象に交通安全指導及び防犯指導の支援を実施しました。そして、児童の下校時に警察官同伴の下、通学路の安全確認を行いました。終了後は校長先生、教頭先生と意見交換をしました。今後も機会があれば、他の学校でも実施したいと思えます。また、私たちも、まちを見る目を養い高めていきます。※まちづくり部会の最新情報は、ホームページで随時掲載していますのでご覧ください。



環境教育サポート部会



環境教育サポーター養成講座を開始

▲楠葉西小学校の総合的な学習の時間での環境教育で、酸性雨の実験をしました。また5年生の生徒さんがグループ毎に身近な環境について調べた結果の発表を聞かせていただきました。▲市内の小学校の出前実験授業に出向くために、環境教育サポーター養成講座を始めています。1回目は酸性雨と温暖化の起こるメカニズムについての実験、2回目は土壌動物の観察、水のろ過、松葉を用いた大気汚染の観察について実地研修を行いました。あなたも環境教育サポーターになって、学校に出向いて授業をしませんか？

▲市長の市政運営方針で、市内学校園で学校版環境マネジメントシステムが導入されることが取り上げられました。部会では約1年近く前からこれを目指して活動してきたので、実現の道筋が付いて喜んでます。また環境教育基本方針についても、これまで部会で方針策定の提言を検討してきましたが、これについても策定されることが決まりました。今後は策定の手順や方針内容を検討していきます。



運営委員会



NPO法人化について検討を続ける

3月10日の第15回運営委員会では、検討会や、各部会からNPO法人化についてのヒアリング結果報告がありました。NPO法人化した時の「三者協働の場」をいかに成立させるか疑問も出ており、この件に関しては慎重に話を進める必要があることを確認しました。

23日には臨時運営委員会を設け、NPO法人化の時期の検討とNPO化した際の理事会の構成や運営委員会の役割について意見交換をしました。今後もこれらの課題について引き続き検討していきます。また会員間の意見交換の場も設ける予定です。

総会は6月5日午後を予定しています。今年度予算はかなり厳しくなることが予想されますので、会員の皆様には継続加入と、新規会員の勧誘へのご協力をよろしくお願いします。

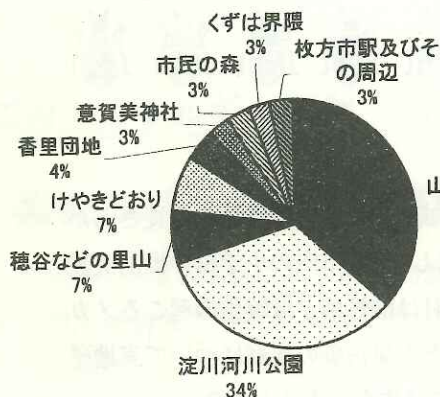
枚方のここが好き！ここが嫌い！アンケートを集計

まちづくり部会が発足して1年少しが経ちました。「枚方のまちを知ろう、好きになろう、楽しもう。そして枚方を誇れるまちにし、外に向かって発信していこう」をモットーに、フィールドワーク、地域防犯講演会、天の川大清掃への参加、小学校での防犯交通安全活動などを企画し、実施してきました。

11月のエコフェアでは、パネル展示と共に「枚方のまち、ここが好き・ここが嫌い」をテーマに来場者にアンケートを記入してもらい、枚方の白地図に緑・赤のシールを貼って「枚方のまち好感度マップ」を作成し、好評を得ました。

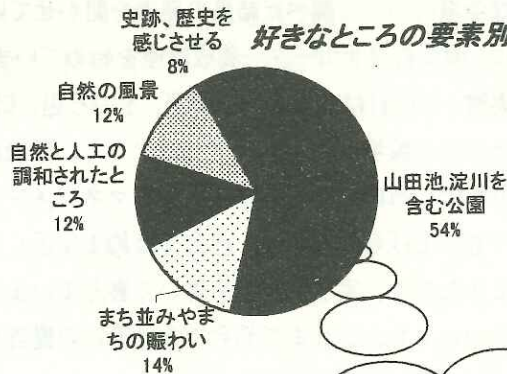
アンケート調査の集計結果の一部を報告いたします。

枚方のここが好き！



他にも王仁公園、岡東公園、牧野阪今池公園、山之上付近、天の川…

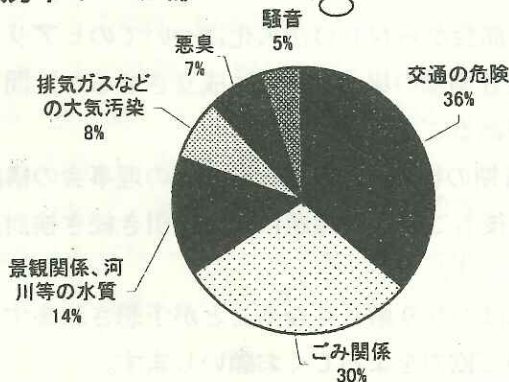
好きなところの要素別分類



場所で見ると枚方市駅周辺、枚方市役所周辺、国道1号線、交通量の多い府道、狭い市道…市民がよく利用する場所でもあります。

キーワードは緑、花、野鳥、木々、心和む、広々、ゆったり、静か、きれい、安全、四季の変化、人との出会い…

枚方市のここが嫌い！



今回アンケートの集計分析結果を参考に、まちづくり部会の活動の方向を見定め、より美しく、楽しく、安全で、安心できるまちを目指して議論し、実践活動に取り組んでいきます。

イベント&募集 お知らせ コーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせは、事務局（枚方市役所環境総務課内）までご連絡ください。
☎072・841・1221代

次期運営委員を募集します

6月5日に開催する「平成17年度定時総会」をもって、現在の運営委員が任期切れとなります。それにともない、次期運営委員になっていただける方を下記の通り募集します。

人数：若干名

資格：正会員（ただし、運営スタッフや部会長として、会全体の運営に携わる意欲をお持ちの方）

締切：4月28日（木）

申し込み：電話、ファクス、Eメールで事務局へ

ネットワーク会議の会員を募集しています

「ひらかた環境ネットワーク会議」に参加し、活動を支える会員を、市民（個人、団体、サークル、NPO）、事業者から広く募集しています。入会を希望される方は事務局へ、電話、ファクス、Eメールでお申し込みください。

平成17年度定時総会を開催

「平成17年度定時総会」を下記の通り開催します。開催案内と議案書は、5月中旬に送付を予定しています。会員の方は、ぜひご出席ください。

日時：6月5日（日）午後1時30分～

場所：ラポールひらかた4階大研修室

「環境のへえ〜」Vol.4

『紙コップのデポジット』

清涼飲料水の自動販売機で、紙コップのデポジット制度が広がっています。

ジュース料金を10円上乗せして販売、飲んだ後の紙コップを回収機に入れると10円が戻ります。

回収した紙コップは、製紙会社でトイレトーパーなど再生されます。

回収率90%に達するところもあり、資源の有効利用と共に、販売機周辺がきれいになるといった効果もあります。

富山大学では、こうした紙コップのデポジット制度に加え、「マイカップ対応自動販売機」の導入などを展開しています。

(30秒で読む環境情報！より)

事務所がサプリ村野へ移転します

ひらかた環境ネットワーク会議の事務所が、4月下旬に、現在の枚方市役所環境総務課内から、サプリ村野（旧村野小学校、〒573-0042 枚方市村野西町5-1）3階へ移転します（会議室は現在でも使用可）。

新しい事務所には、事務局スペースと20人規模のミーティングが行える会議室スペースを設けます（会議室は予約制）。

また、市役所環境情報コーナーにある豊富な

環境関連の図書も移設し、貸し出しを行います。皆さん、気軽にご利用ください。



◆交通
京阪電鉄交野線村野駅より
徒歩10分、星ヶ丘駅より
徒歩10分

会員数(平成17年3月31日現在):正会員197名(個人163、団体34)、賛助会員34名(個人28、団体6)

団体紹介 コーナー

生活協同組合 おおさかパルコープ 枚方市行政区委員会

設立：1975年（前身）、会員：枚方市内5万6672人（全エリア29万704人）

代表者：川副幸子

昨年
のエコ
フェア
で「環
境を考
え
たお買
い物」
をテー
マに出
展



「おおさかパルコープ」は、枚方市内の3分の1世帯が組合員という、市民にとって身近な団体で、事業者としての商品販売事業はもちろん、組合員間のさまざまな啓発活動を行っている組合員の組織です。

生活者としての視点から、暮らしの中のさまざまな問題を取り上げ、活動を行っています。環境問題に関しても、より多くの人と共に考え、行動することを目指して、いろいろな「場」を作っています。

今までに、環境調査、たい肥作り、エコクッキング、省エネ家計簿、ごみ減量、マイバッグ運動、水の学習、洗剤の学習などを、楽しく進めてきました。

昨年秋のひらかたエコフェアでは、「環境を考

生活実感を大切に市民と

環境活動を進めていく

えたお買い物」をテーマに出展し、多くの来場者が訪れ大盛況となりました。組合員と組合員以外の市民が楽しく一緒に学習し、充実した活動となりました。

今後も生活実感を大切に、多くの市民と一緒に、一歩ずつ進めていける環境活動を行っていきます。

マンパワーで何事にもチャレンジ

〈代表者の想い〉

私たちは、環境問題について専門知識があるわけでもなく、いろいろな情報、知識を聞きかじっている、いわゆる「何でも屋」の集まりです。



川副幸子さん

しかし、何でもやってみたいという夢大好きな人の集まりでもあります。そのマンパワーを生かして、これからもチャレンジしていきます。

編集後記

地球温暖化の原因となっている温室効果ガスの削減を義務付けた「京都議定書」が2月16日に発効しました。日本は90年比6%削減という目標を定めていますが、温室効果ガスの排出量を抑えるには、市民レベルでの取り組みが大切です。ネットワーク会議では、昨年に引き続き「CO₂削減・百万人の環 キャンペーン」を三者協働で展開します。6月19日の午後8時から2時間、一斉に電気を消してスローな時間を過ごそうというものです。皆さんのちょっとした行動が地球規模の環境保全につながります。ぜひキャンペーンへの積極的なご参加をお願いします。（鍛冶谷 記）

ひらかた環境ネットワーク会議会報「環境ひらかた」第5号

平成17年4月1日発行（年4回発行）

発行：ひらかた環境ネットワーク会議

〒573-8666 大阪府枚方市大垣内町2丁目1-20

枚方市役所環境総務課内

電話 072-841-1221（内線966）

FAX 072-841-3039

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyuu.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyuu.net>

発行責任者：谷崎 利男

編集責任者：鍛冶谷 知宏



この会報誌は古紙再生紙を使用しています。